

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年4月3日

団体名 岡崎川柳研究社

代表者 山下 吉宣

構成員 27人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

文芸としての川柳への理解と市民への普及、会員相互の親睦と
高齢化社会の中での交流の場の提供

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
令和7年4月 ～ 令和8年3月	作句部セツ	一般市民	市民自主 講座17名	講師派遣による 作句指導 月1回
令和7年4月 ～ 令和8年3月	南部 市民センター	会員	-	作句指導と句会開催 月1回
令和7年 4月	西部地域 交流セツ	会員お揃 一般市民	参加者 120名	春の市民川柳大会
令和7年 11月15、16日	竜華紅会館	一般市民 会員	-	岡崎文化協会展 作品展示と川柳教室

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

- ・やほぎの自由講座では愛好者の交流が深割楽しい場となっている。
- ・市民センターでの句会は高齢化の進む中、元気に句会を楽しんでいる。
- ・市民川柳大会は一般の方にも楽しんでいただき、観光にも寄与している

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 4 ③ 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

ボランティアではないが、高齢化の進む中、市民の交流の場づくりに
は大いに役立っていると確信している。